



平成29年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年10月4日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 タカキュー

コード番号 8166 URL <http://www.taka-q.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大森 尚昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 佐藤 立育

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 平成28年10月4日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年2月期第2四半期の業績(平成28年3月1日～平成28年8月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年2月期第2四半期	11,414	△2.4	△101	—	16	—	△104	—
28年2月期第2四半期	11,700	△5.4	△391	—	△276	—	△405	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年2月期第2四半期	△4.31	—
28年2月期第2四半期	△16.65	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年2月期第2四半期	11,769	7,217	61.3	296.19
28年2月期	12,261	7,375	60.2	302.70

(参考)自己資本 29年2月期第2四半期 7,217百万円 28年2月期 7,375百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年2月期	—	0.00	—	2.00	2.00
29年2月期	—	0.00	—	—	—
29年2月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年2月期の業績予想(平成28年3月1日～平成29年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,400	0.3	500	48.5	700	22.8	200	—	8.21

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年2月期2Q	24,470,822 株	28年2月期	24,470,822 株
② 期末自己株式数	29年2月期2Q	104,204 株	28年2月期	104,204 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年2月期2Q	24,366,618 株	28年2月期2Q	24,367,052 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
4. 補足情報	8
商品別売上高	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、英国のEU離脱など世界経済に不透明感が強まるなか、円高の進行や株式市場の低迷もあり、個人消費は足踏み状況が続いております。当衣料品小売業界におきましても、購買意欲の冷え込みが続く厳しい状況となっています。

このようななか、当社は「最高のお客様満足」の実現に向け、営業・商品両面から取り組みました。

営業面では、スーツの体型別品揃え、カジュアル商品の購買層に合わせた展開等、店舗立地の特性に応じた商品構成の見直しの推進に注力しました。販売促進に関しては、会員優待セールの実施方法、パンフレットの訴求方法など、その実施効果を踏まえて見直しを行いました。またアルバイト従業員の集合研修の充実や、ロールプレイング・トレーニングなど店舗スタッフの基礎能力強化に取組み、接客力の向上を図りました。それらによりスーツ、ジャケット、スラックスなど比較的高付加価値の商品は堅調に推移しました。

オンラインショップでは、商品掲載を自社で完結できる仕組みも軌道に乗り、加えて新たなファッションサイトにおける品揃え強化など、EC売上の推進に注力し、お客様の利便性向上に努めました。

商品面では、ファッション性、機能性およびクオリティーの高い商品開発に努め、年4回のMDを6回に細分化して季節対応力の強化にも取組みました。さらに月間の投入回数を増やし、店舗の鮮度アップも図りました。またMDの立直しによりレディース商品が好調に推移したほか、商品の投入と値下げのコントロールを強化し、粗利益率の改善にも努めました。

その結果売上高は、7月度まで順調に推移しましたが、8月度のオリンピック観戦、雨や台風の影響で、当第2四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は0.9%減と前年をやや下回る結果となりました。

店舗面では、主力業態のタカキューを5店舗、シャツ・コードを1店舗、計6店舗出店しました。一方で低効率店舗を5店舗退店し、当第2四半期会計期間末では前年同期比5店舗減の277店舗となりました。

以上により、当第2四半期累計期間の売上高は114億1千4百万円（前年同期比2.4%減）となりました。利益面では、商品の投入・値下げのコントロールによる粗利益率の向上及び経費の削減があり、営業損失は1億1百万円（前年同期は営業損失3億9千1百万円）、経常利益は1千6百万円（同経常損失2億7千6百万円）となりました。四半期純損益は、減損損失、災害損失の計上により1億4百万円の損失（同四半期純損失4億5百万円）となり、それぞれ前年同期比で改善いたしました。

なお、熊本地震で被災した4店舗のうち営業休止中の2店舗については、当第2四半期会計期間末では1店舗が仮店舗で営業再開し、1店舗は引続き営業を休止しております。

また当社は、平成28年7月19日付で、株式会社ダイエーとの間でビッグサイズの紳士衣料専門店「グランバック」14店舗について、会社分割により承継する基本合意書を締結しました。

（2）財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

資産の部は、前事業年度末に対して4億9千2百万円減少し、117億6千9百万円となりました。主な要因は、流動資産で売掛金が3億5千4百万円、商品が4千5百万円それぞれ減少し、現金及び預金が1億3千2百万円増加、固定資産で有形固定資産が8千3百万円、無形固定資産が5千7百万円、投資その他の資産で敷金が3千2百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して3億3千3百万円減少し、45億5千2百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金、電子記録債務が2億5千2百万円、未払法人税等が1億7百万円それぞれ減少し、賞与引当金が4千9百万円増加、固定負債で退職給付引当金が2千万円減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して1億5千8百万円減少し、72億1千7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が1億5千3百万円減少したこと等によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に対して1億3千2百万円増加し、13億8千9百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、1億9千5百万円の収入（前年同期比16億6千7百万円の収入増加）となりました。これは非資金的費用である減価償却費2億2千1百万円、減損損失5千万円および売上債権の減少3億5千4百万円等による資金増と、仕入債務の減少2億5千2百万円および法人税等の支払1億7千1百万円等の資金減によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、1千2百万円の支出（前年同期比1億8千4百万円の支出減少）となりました。これは敷金及び保証金の回収による収入が7千1百万円等ありましたが、新規出店および改装等により有形固定資産の取得による支出8千4百万円および敷金及び保証金の差入による支出4千1百万円等があったことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払により4千9百万円の支出となりました。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年4月7日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計方針の変更）

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,256,976	2,389,802
売掛金	1,285,485	931,202
商品	3,219,136	3,173,371
貯蔵品	48,659	54,229
繰延税金資産	90,249	115,666
その他	236,928	244,888
流動資産合計	7,137,437	6,909,159
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	344,242	316,216
器具及び備品(純額)	463,751	407,071
その他(純額)	5,014	6,436
有形固定資産合計	813,008	729,724
無形固定資産	349,769	291,792
投資その他の資産		
関係会社株式	283,192	272,962
賃貸不動産(純額)	27,459	26,354
差入保証金	244,988	244,988
敷金	3,081,436	3,048,487
繰延税金資産	185,841	170,786
その他	138,199	75,060
投資その他の資産合計	3,961,117	3,838,640
固定資産合計	5,123,894	4,860,157
資産合計	12,261,331	11,769,317
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	904,584	1,288,261
電子記録債務	1,909,617	1,273,322
未払法人税等	195,530	88,012
賞与引当金	124,810	173,862
店舗閉鎖損失引当金	—	3,180
災害損失引当金	—	10,000
その他	920,380	879,144
流動負債合計	4,054,922	3,715,783
固定負債		
退職給付引当金	20,189	—
資産除去債務	697,231	704,990
その他	113,142	131,454
固定負債合計	830,562	836,444
負債合計	4,885,485	4,552,228

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年2月29日)	当第2四半期会計期間 (平成28年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568,485	568,485
利益剰余金	4,750,443	4,596,769
自己株式	△26,251	△26,251
株主資本合計	7,292,676	7,139,002
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83,168	78,086
評価・換算差額等合計	83,168	78,086
純資産合計	7,375,845	7,217,089
負債純資産合計	12,261,331	11,769,317

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
売上高	11,700,133	11,414,649
売上原価	5,052,883	4,645,667
売上総利益	6,647,250	6,768,981
販売費及び一般管理費	7,038,996	6,870,568
営業損失(△)	△391,745	△101,586
営業外収益		
不動産賃貸料	157,629	154,724
手数料収入	51,673	50,973
その他	20,934	24,864
営業外収益合計	230,237	230,562
営業外費用		
不動産賃貸費用	105,035	104,192
その他	10,418	8,674
営業外費用合計	115,453	112,867
経常利益又は経常損失(△)	△276,962	16,107
特別損失		
減損損失	220,309	50,265
災害による損失	—	19,023
特別損失合計	220,309	69,289
税引前四半期純損失(△)	△497,271	△53,181
法人税、住民税及び事業税	53,771	56,974
法人税等調整額	△145,263	△5,215
法人税等合計	△91,492	51,759
四半期純損失(△)	△405,779	△104,941

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失 (△)	△497,271	△53,181
減価償却費	304,908	221,478
減損損失	220,309	50,265
災害損失	-	9,023
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△98,149	-
賞与引当金の増減額 (△は減少)	50,984	49,052
店舗閉鎖損失引当金の増減額 (△は減少)	3,003	3,180
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	-	10,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	-	△20,189
有形固定資産除却損	2,821	1,052
受取利息及び受取配当金	△4,216	△5,052
売上債権の増減額 (△は増加)	480,524	354,283
たな卸資産の増減額 (△は増加)	526,017	40,196
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,082,228	△252,618
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△161,472	△38,006
その他	△35,636	△2,975
小計	△1,290,407	366,509
法人税等の支払額	△182,038	△171,168
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,472,445	195,340
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△248,603	△84,320
無形固定資産の取得による支出	△2,453	△884
出資金の回収による収入	1,290	-
敷金及び保証金の差入による支出	△46,742	△41,234
敷金及び保証金の回収による収入	137,347	71,028
資産除去債務の履行による支出	△19,891	△2,942
その他の資産取得による支出	△22,496	△8,032
長期預り保証金の返還による支出	-	△500
保険積立金の解約による収入	-	49,426
利息及び配当金の受取額	3,837	4,683
投資活動によるキャッシュ・フロー	△197,712	△12,775
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の増減額 (△は増加)	△97	-
配当金の支払額	△49,164	△49,740
財務活動によるキャッシュ・フロー	△49,262	△49,740
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,719,420	132,825
現金及び現金同等物の期首残高	2,356,957	1,256,976
現金及び現金同等物の四半期末残高	637,536	1,389,802

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品別売上高

	前第2四半期累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)		当第2四半期累計期間 (自 平成28年3月1日 至 平成28年8月31日)		前事業年度 (自 平成27年3月1日 至 平成28年2月29日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
重衣料	4,271,910	36.5	4,462,972	39.1	9,306,660	38.3
中衣料	542,811	4.6	463,197	4.0	1,907,397	7.8
軽衣料	6,453,782	55.2	6,068,895	53.2	12,220,618	50.3
その他衣料等	431,629	3.7	419,583	3.7	885,486	3.6
合計	11,700,133	100.0	11,414,649	100.0	24,320,162	100.0

(注) 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。